

小型船舶操縦士免許 取得の実際

試験を受けてみて、初めてわかったことがいろいろありましたので、これから受験される方の参考のために記しておきます。いずれも、各種の参考資料やテキストでは分からないこと又は誤解しやすいことです。

(注) 以下で、「ムック」とは、「今から取るボート免許」舵社 1600 円 のことです。なお、付属 DVD 35 分がとても参考になります。ムックは毎年改訂されているようだが、DVD の中身は変わらない模様。

I. 実技試験の実際

1. 試験艇

- ・受験者3名が同時に試験艇に乗り込み、順々に試験。ただし、ときどき順序が変えられる。
- ・試験艇は「涼風206号」 ムックのP45の涼風105と全く同じ。ただし、ハンドル前方の計器類がより小さく、かつ種類が多い。
- ・シフトレバーが左側に付いている。「のこのこ」とは逆の配置である。
- ・ダッシュボード中央の磁気コンパス（ムック P45 参照）にはタオルが掛けてあって、受験者にも試験官にも見えないようになっている。なぜなのかは不明。
- ・運転席は、少し左側を向くように固定され、助手席（試験官が座る。）は少し右側を向くように固定されている。受験者と試験官との会話がしやすいためではないか。
- ・船尾周りをチェックするときは、エンジンルーム横のステップに昇らないとプロペラが見えない。

2. エンジン始動と暖機運転

クラッチを切るときにスイッチが固くて動かしにくい。レバーを前後させながらスイッチを押すとよい。暖機運転は1500回転で6秒程度続ける。

3. 操作感の試行

試験の前に、次の2つの試行ができる。

- a) シフトレバーの動かし方として、中立、前進微速、後進微速を実際に動かしてみて手応えを感じることができる。
- b) ハンドルを右にいっぱい、左にいっぱいに回してみてどこまで回るか、軽さはどうかを確認できる。
ここまでは試験の範囲ではない。

4. ボートフックの使い方についての注意

栈橋を押す時には、ボートフックの後端を使うように注意があった。

5. 試験の順序（日によって順序が変わるのかもしれない）

- 0) 栈橋から、試験官が操縦して安全な沖合に出る。
- 1) 操作感の試行（前述：試験範囲外）
- 2) 発進、直進、滑走状態へ、減速、停止
目標まで「滑走」で前進するが、滑走にするためには2500-3000回転を保つ必要がある。
- 3) 変針 2回か3回
- 4) Uターン 「黄色の紙」では、「変針（旋回）」とある。読むときに見落としていた。
- 5) 後進

ここで、受験者の順序の入れ替え

6) コンパスの操作

プリズムを手前に回転させてプリズムに写った文字盤を読み取るのだが、知らない受験者が

いてまごついていた。

- 7) 蛇行
- 8) 人命救助
- 9) 再び試験官が操縦して、栈橋へ着岸する。

ここで再び、受験者の順序の入れ替え

- 1 0) 解纜
- 1 1) 離岸
- 1 2) 着岸
- 1 3) 係留

6. 試験に使われる目標物

能古島の電波塔、福岡タワー、福岡ドーム、海の中道の観覧車、海の中道のマンション など。最初の 2 つは必ず目標として利用されると思われる。

「黄色の紙」には、「磁気コンパスを使用して針路を指示する場合があります。」とあるが、この指示は一度もなかった。

7. 着岸

左舷付けでも右舷付けでも、受験者が選択できる。

8. 解纜・係留

解纜は風下側から、係留は風上側から。

係留したロープの余りは、通行のじゃまにならないように、簡単にコイルして栈橋上に置くこと。これも採点される。

クリートの形状に注意：西福岡マリーナのクリートはちょっと変わっていて、横長 X 字形である。このため、どのようにロープを取り回すべきかは当日、試験官がやるのを見るまでわからなかった。実際、クリート止めのロープワークに苦勞している受験者がいた。試験官は X の 2 本の枝をまとめてロープを掛けていた。この点も採点されていた。

II. 受験までの手続きなど

1. 申請書の入手

北九州市門司区へ行かない限り、返信用封筒同封で郵送で依頼するしかない。

2. 申請

ゆうパック (500 円) 2 枚を同封する。一枚は受験票の送付用、もう一枚は合格証明書の送付用である。着払い宅急便も選べるが、ゆうパックの方が安い。

3. 受験票が届く

同封の「黄色の紙」が極めて重要。熟読しておくこと。(試験が終わってから読んだが、読み落としがあったことが判明した。)

4. 下見

西福岡マリーナでの受験であり、次の 2 点が気になったので下見をした。

1) 栈橋の状況：

クリートの形状：前述のとおり。

栈橋間の距離：のこのこで練習するときの栈橋間よりも広いので、U ターンは十分可能である。

ただし、ゲスト船の係留が多い場合は、U ターンしにくい可能性はある。

2) 試験艇の形状、運転席など

試験棟から数えて 3 番目の列に 2 艇が上架してある。ムックの写真にある試験艇とほとんど同じである。

Ⅲ. 参考となる URL

1. (財) 日本海洋レジャー安全・振興協会 (JMRA)
試験日程、申し込み方法、料金などに必読
<http://www.jmra.or.jp/>
試験日程は、<https://www1.jmra.or.jp/announce2003/siken.asp>
2. 二級小型船舶操縦士 取得体験記
<http://license1oni.blog117.fc2.com/>
特に、実技試験の体験記が役に立つ。

Ⅳ. 学科試験の準備など

1. テキスト類

- | | | | | |
|----------------------------|----|------|----------|----|
| 小型船舶操縦士学科教本 | I | 2 級用 | 1810 円＋税 | 舵社 |
| 〃 | II | 1 級用 | 1190 円＋税 | 舵社 |
| 2 級小型船舶操縦士 学科試験問題集 2009 年版 | | | 1200 円＋税 | 舵社 |
| 1 級 | 〃 | 〃 | 800 円＋税 | 舵社 |
- いずれも福岡市天神のジュンク堂 (092-738-3322) には常備されていて入手しやすい。
この 4 冊は、平成 21 年 12 月現在、渡口から添田さんに渡してあります。

テキスト中の術語が説明されていない場合がある。例えば、キングストンバルブ、カットレスベアリングとか。検索エンジンで調べると時間がかかるので質問できる人がいると助かる。

2. ムック「今から取るボート免許」

舵社発行 1600 円。

付属の DVD (35 分間) がとても参考になる (以下、「ムック」)。少なくとも 5 回は繰り返して見て、発声や操作のタイミングをつかむ。ムックは毎年改訂されているようだが、DVD の中身は変わらない模様。

3. 一級受験の注意

学科試験では、海図の試験 (問 51,52,53 の 3 問) がちょっとややこしい。慣れていても 1 問につき 6 分から 10 分かかるので、他の問いとの時間配分が重要。

学科試験の所要時間の実際は次のようであった。

10:00 答案用紙・試験問題の配付、説明、必要事項の記入

10:08 試験開始

10:30 問い 1～50 (2 級分) 終了 所要 22 分

10:41 問い 54～64 (1 級分：海図を除く) 終了 所要 11 分

11:06 問い 51～53 (海図分) 終了 所要 25 分

海図 3 問に 25 分を費やし、一番時間がかかることが分かる。

11:43 全問のチェック終了 退室 (余り時間 45 分)

したがって、一度 2 級を取ってから 1 級を受験する場合は、70 分の試験時間で問 51～64 を解かねばならないので、時間的にきついことになる。実際、2 級取得者で 1 級を受験した者が何名かいたが、皆さん、時間いっぱいを使って海図問題を解いていた。